

# 製品安全データシート

作成:2010年 5月26日

改訂:2016年 3月30日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KM062-03  
製品名 : アプロードスタークルゾル  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : 生産資材部生産業務課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3827-0825  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	自然発火性液体	: 区分外
	引火性液体	: 区分外
健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	: 区分外
	急性毒性(経口)	: 区分5
	急性毒性(経皮)	: 区分5
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
環境に対する有害性	皮膚感受性	: 区分外
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分1(肺、肝臓、甲状腺、脳)
	水生環境有害性(急性)	: 区分外
	水生環境有害性(慢性)	: 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・軽度の皮膚刺激
- ・長期または反復暴露による臓器(肺、肝臓、甲状腺、脳)の障害

注意書き

【予防策】

- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・取り扱いの際には、飲食または喫煙をしないこと。

【対応】

- ・皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

【保管】

- ・涼しい所、換気のよい場所で保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：(RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル) グアニジン

／一般名：ジノテフラン

2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニル-3, 4, 5, 6-テトラヒドロ-

2H-1, 3, 5-チアジアジン-4-オン／一般名：ブプロフェジン

成分及び含有量	ジノテフラン	9.0%
	ブプロフェジン	18.0%
	水、界面活性剤 等	73.0%

化学式：  $C_7H_{14}N_4O_3$  / ジノテフラン  
 $C_{16}H_{23}N_3OS$  / ブプロフェジン

官報公示整理番号： 化審法 (5)-6767 / ジノテフラン  
8-(7)-839 / ブプロフェジン

安衛法 8-(4)-1339 / ジノテフラン

CAS No. : 165252-70-0 / ジノテフラン

CAS No. : 69327-76-0 / ブプロフェジン

### 4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場合に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火方法：初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

### 6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫が皮膚に付着しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。

流出物の処理に対する注意：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる

空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：ブプロフェジン 2mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会勧告値（2009年）

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設ける。

保護具 呼吸用保護具：防毒マスク（有機ガス用）

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服（不浸透性）

## 9. 物理・化学的性質

外観等	: 淡黄色水和性粘稠懸濁液体
臭い	: 知見なし
pH	: 8.6(参考値)
引火点	: 非引火性
密度・比重	: 1.13(参考値)
粘度	: 350mPa·s(参考値)

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管環境下で安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub> >2000	mg/kg 以上
急性毒性（経皮）	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub> >2000	mg/kg 以上
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外	
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類対象外	
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ	軽度刺激性
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 区分外	
呼吸感受性	: 分類できない	
皮膚感受性	: 区分外	
生殖細胞変異原性	: 分類できない	
発がん性	: 分類できない	
生殖毒性	: 分類できない	
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 分類できない	
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分1(肺、肝臓、甲状腺、脳)に分類される。	
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない	

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC <sub>50</sub>	>1000	mg/l (96時間)
--------	------------------------	-------	-------------

甲殻類	: (オオミジンコ)EC <sub>50</sub> >1000	mg/l (48時間)
藻類	: EC <sub>50</sub> >1000	mg/l (72時間)
残留性/分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	
その他	: ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。	

### 1 3. 廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

### 1 4. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。水濡れに注意する。

国連分類	: 非該当
国連番号	: 3082

### 1 5. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第22661号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第18条の2(通知対象物):ブプロフェジン(政令番号334)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 第一種指定物質 357号 ブプロフェジン
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当

### 1 6. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献 : 1) J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 0 9 G H S に基づく化学物質等の分類方法  
 2) 農薬中毒の症状と治療法 第12版 平成20年3月 農林水産省農蚕園芸局  
 3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

#### 作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。